

まつど議会だより

発行/松戸市議会
編集/広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

戸定歴史館開館30周年記念

令和3年度特別展第2弾

「幕府再興とパリ万博 —1867・運命の転換点—」

を開催しています



とくがわあきたけ
徳川昭武

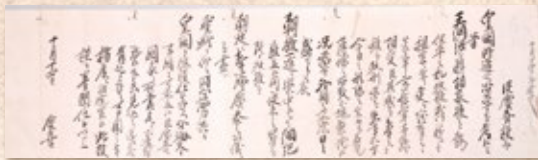
写真:松戸市戸定歴史館所蔵



きんそくあおいもんつきせつこうしょうぞういりかいちゅうどけい
金側葵紋付節公肖像入懐中時計



ごじんがさ
御陣笠



せいけん ちょうていにかえしたてまつるけんばくうつし
政権を朝廷ニ奉帰建白写



しぶさわえいいち
渋沢栄一



陣羽織(複製)を着た板垣さん

大河ドラマ「青天を衝け」で徳川昭武を演じる板垣李光人(りひと)さんが戸定邸を訪問しました。

本展では、パリ万博に関する基本情報と貴重な歴史資料を展示し、徳川慶喜・昭武兄弟や使節団が展開した活動と国内外情勢の変化について紹介します。

また大河ドラマ放映に合わせ渋沢栄一が果たした役割についても再考します。

会期:前期 令和3年 7月 3日(土)から 9月20日(祝)まで
後期 令和3年10月13日(水)から10月31日(日)まで

●問い合わせ先
戸定歴史館 TEL 047(362)2050



戸定歴史館
ホームページ

市議会トピックス

- 令和3年度松戸市一般会計補正予算(第2回)を可決
補正額 19億5,820万3千円
※詳細は3面に記載しています。
- 公共施設再編検討特別委員会を設置

新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

6月定例会においても、引き続き、換気、消毒の徹底等とともに、下記のとおり感染拡大防止策を図りました。

- 本会議では採決時を除き、議員は定足数に配慮し半分ずつ交代で出席し、執行部の出席者数にも配慮をお願いしました。
- 一般質問は発言時間を通常60分から25分に短縮しました。議案質疑は質疑時間を通常30分から10分に短縮しました。

人事案件

副市長、監査委員の選任および人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。(敬称略)

- 副市長 石和田 二郎
- 監査委員 三好 徹子
- 人権擁護委員候補者 山崎 敏子

6月定例会

令和3年6月定例会を6月8日から23日まで開催しました。

今定例会では、初日に市長から提出された専決処分2件の報告を承認し、監査委員の選任議案1件、人権擁護委員候補者の推薦議案1件それぞれに同意しました。

このほか市長から提出された補正予算を含む一般議案10件を、それぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに市長から提出された副市長の選任議案1件、議員提出議案9件を上程し、採決しました。

また公共施設再編検討特別委員会の設置および委員の選任、さらに委員長および副委員長の互選を行いました。

(2面に審議結果、3面に主な質疑を掲載)
なお34人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

6月定例会 審議結果

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
市長提出議案				
第1号	専決処分の報告及び承認（松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定） 地方税法の改正に伴い、令和3年度評価替えに伴う土地に係る固定資産税及び都市計画税の税負担の調整に関する規定等を整備するため。	—	承認	多数意見
第2号	専決処分の報告及び承認（令和3年度松戸市一般会計補正予算（第1回）） 子育て世帯生活支援特別給付金の支給に係る経費について、緊急に補正予算の必要が生じたため。	—	承認	全会一致
第3号	令和3年度松戸市一般会計補正予算（第2回） プレミアム商品券（プレミアム率30%、発行部数15万冊、スマートフォン12万冊、プリペイドカード3万冊）発行に要する経費等を措置するため。	総務財務	可決	多数意見
第4号	令和3年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算（第1回） 諸証明総務手数料のキャッシュレス決済の導入及び新型コロナウイルス感染症の流行の影響による保険料減免に係る経費について、歳入の一般会計からの繰入金と併せ措置するため。	健康福祉	可決	全会一致
第5号	令和3年度松戸市介護保険特別会計補正予算（第1回） 「通いの場」のオンライン開催に要するタブレット購入費、操作講習会等の開催に要する経費を計上し、歳入と併せ措置するため。	健康福祉	可決	全会一致
第6号	松戸市役所支所設置条例等の一部を改正する条例の制定 東松戸に施設を開設し、公共サービス機能を集約、複合化することにより、利用者の利便性を向上させるため。	教育環境	可決	全会一致
第7号	職員のサービスの宣誓に関する条例及び松戸市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定 行政手続における押印等を見直すことにより、市民等の負担を軽減し、利便性の向上を図るため。	総務財務	可決	多数意見
第8号	新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための特殊勤務手当の特例に関する条例及び松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 新型インフルエンザ等対策特別措置法等の改正に伴い、条例中の新型コロナウイルス感染症の定義を改めるため。	総務財務	可決	全会一致
第9号	松戸市市税条例等の一部を改正する条例の制定 地方税法の改正に伴い、個人市民税に係る非課税限度額等における国外居住親族の取扱いの見直しをする規定を整備するとともに、固定資産税に係る地域決定型地方税制特例措置を設ける等するため。	総務財務	可決	全会一致
第10号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、地方公共団体情報システム機構が個人番号カードの再発行に係る手数料を定めることとなったため。	教育環境	可決	全会一致

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
第11号	松戸市青少年プラザ条例の制定 青少年プラザを設置することにより、中高生世代を中心とした子どもに安心安全な居場所を提供し、健全な育成を図るため。	健康福祉	可決	全会一致
第12号	契約の変更（松戸市立小中学校空調設備整備PFI事業） 整備対象教室の増加に伴い、空調設備の維持管理費用が増額したため。	教育環境	同意	全会一致
第13号	監査委員の選任（三好徹氏） 識見を有する者のうちから選任した監査委員のうち、1人の任期が令和3年6月25日をもって満了するので、後任者を選任するため。	—	同意	全会一致
第14号	人権擁護委員候補者の推薦（山崎敏子氏） 人権擁護委員の任期満了に備え、後任の候補者を推薦するため。	—	同意	全会一致
第15号	副市長の選任（石和田二郎氏） 本市副市長のうち、1人が令和3年6月30日をもって退任するので、後任者を選任するため。	—	同意	多数意見

動議				
公共施設再編検討特別委員会の設置				
—	—	可決	—	全会一致

議員提出議案				
第1号	デジタル改革関連6法の廃止を求める意見書	—	否決	多数意見
第2号	オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正を求める意見書	—	否決	多数意見
第3号	憲法に反する「重要土地調査規制法」の廃止を求める意見書	—	否決	多数意見
第5号	東京電力福島第一原子力発電所で発生している放射能汚染水を海洋放出する方針の撤回を求める意見書	—	否決	多数意見
第6号	冤罪被害者を救済する再審法（刑事訴訟法の再審規定）の速やかな改正を求める意見書	—	否決	多数意見
第7号	中学校、高等学校も含めた本格的な少人数学級の実施を求める意見書	—	否決	多数意見
第8号	日本学術会議から推薦された6名全員の任命を求める意見書	—	否決	多数意見
第9号	コロナ禍における東京オリンピック・パラリンピック開催の可否についての判断基準及び判断期限の明確化を求める意見書	—	否決	多数意見
第10号	「生理的貧困」等を含む女性活躍推進の対応策を求める意見書	—	否決	多数意見

議員の寄附行為の禁止

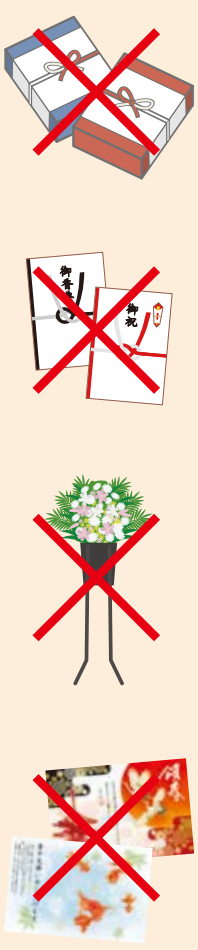
政治家（後援団体）が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは法律で禁止されています。

また有権者が政治家に寄附を求めることも禁止されています。

たとえば

- お祭りや運動会など地域の行事への寄附や差し入れ（催し物などで参加者全員と同額の会費を負担する場合を除く）
- お祝いやお見舞い、葬儀の花輪など
- 年賀状や暑中見舞いなどの時候の挨拶状（答礼のための自筆は除く）

※地域で行われる行事等で、会費や実費の伴うものを案内する場合には、会費を必ず明示して通知してください。



政務活動費 収支報告書等公開中

政務活動費とは

議員の調査研究に役立てるため必要な経費の一部として、党派および議員に対して交付するもので、条例で定められた経費以外に充てることはできません。収支報告の際には、規程に基づく領収書（またはこれに準ずる書類）の添付が義務付けられています。

松戸市では、各党派経理責任者等で構成する経理責任者等会議において、政務活動費に関する調査研究および政務活動費を充てることのできる範囲について協議を行い、適正な運用に努めております。

令和2年度政務活動費の収支報告書、領収書等を市議会ホームページで公開しております。

また収支報告書、領収書、研修会報告書およびその他使途に関する資料を議会事務局内で閲覧することが出来ます。

● 問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047 (366) 7381

委員会の審査から

6月16日・17日・18日・21日に各常任委員会を開催し、提出された議案について審査しました。
ここではその審査の中での主な質疑・答弁(要点)を掲載します。
(審議結果は2面に掲載)

※なお6月21日に開催した、建設経済常任委員会では、議案等の審査がありませんでした。

総務財務常任委員会

議案第3号 令和3年度松戸市一般会計補正予算(第2回)

○ 証明手数料のキャッシュレス化導入について、概要と近隣市の導入状況を伺う。

○ 各種証明手数料のキャッシュレス化は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点ならびに窓口における利便性向上のため、住民票や税証明書など証明手数料の支払いを市民課、市民税課、固定資産税課、収納課、国民健康保険課、また各支所、行政サービスセンターなどの窓口において、電子決済用端末機を通してクレジットカードや交通系電子マネーなどで、非接触で決済が可能となるものである。運用開始の時期は令和4年1月を予定している。近隣市では船橋市、市川市、習志野市、浦安市などがキャッシュレス決済を導入している。

○ 21世紀の森と広場について、広場施設内のトイレ洋式化、自動水栓化の内容を伺う。

○ パークセンター、自然観察舎、カフェテラス、アウトドア活動センター管理棟、里の茶屋5施設の和式便器17基を洋式便器に交換し、既存の洋式トイレ12基を水栓レバーから自動水栓に交換、またトイレの洗面台蛇口25基を自動水栓に交換する。タッチレス水栓化することでさらなる新型コロナウイルス感染症拡大防止が期待できると考える。施設以外の公園トイレの整備は公園施設長寿命化計画に基づき、順次更新していく。

健康福祉常任委員会

議案第5号 令和3年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第1回)

○ 「通いの場」の参加者等を対象にタブレット端末の無料講習会を行うことだが、具体的な講習内容を伺う。

○ 受講者は市民センター等公共施設にてタブレットの起動、コミュニケーションツールを使用した会話、文字の入力方法など基本的な操作について受講する。その後、3週間タブレットを自宅に持ち帰り、興味があることを検索、ビデオ通話アプリによるイベント参加等の実践を10回程度受講し、最後の講習後タブレットを返却し終了となる。

議案第11号 松戸市青少年プラザ条例の制定について

○ 本条例により設置される青少年プラザの利用内容やイベントは中学生が主体的に考えていくのか。また学習支援は行うのか伺う。

○ 利用内容については、当該施設設置にあたり子どもモニターから市長へ提言された理想の子ども居場所についての内容やこれまで実施してきた中高生の居場所事業等をもとに設置している。イベントについてもこれまでの子どもたちのニーズや今後の利用状況等を踏まえ検討していく。学習支援については簡単な質疑であれば対応できる予定であり、その他進路関係等色々な相談を受けることができるようにしたいと考えている。

教育環境常任委員会

議案第6号 松戸市役所支所設置条例等の一部を改正する条例の制定について

○ 東松戸複合施設は、公共サービス機能を集約、複合化した新しい施設となる。利用者の利便性向上のため図書館と青少年プラザとの連携等、弾力的な運用がなされるのか伺う。

○ 図書館東松戸地域館には、一般向け書籍に加え、中高生向けヤングアダルトコーナーを設置する。1階図書館と2階青少年プラザとの行き来がしやすいよう中央付近に内階段があるため、図書館の本を利用し、2階でグループ学習や読書等に活用してもらいたい。また連携した

講座開催も予定しているため、青少年プラザを利用する中高生だけでなく多くの利用者にとって交流や学習活動の場として、活用されると期待している。

○ 松戸市立小中学校空調設備整備PF1事業

○ エアコン設備がありながら教室として使用されていない部屋があることだが、空き教室はさまざまな用途があると考える。現状の活用状況を伺う。

○ 学級教室として使用されていない部屋の活用については、多目的教室や算数、英語等の教科教室、少人数教室や学習室として有効に活用されており、当該教室を使用する児童生徒が学習する上で、学級教室と同等の教育環境を確保している。

常任委員会名簿

委員の変更がありました。

総務財務常任委員会	健康福祉常任委員会	教育環境常任委員会	建設経済常任委員会
委員長 飯 箸 公 明	委員長 大 谷 茂 範	委員長 伊 東 英 一	委員長 波 谷 剛 士
副委員長 大 橋 博 一	副委員長 大 篠 田 哲 弥	副委員長 石 井 勇 澄	副委員長 鷹 野 計 恵
D E L I	中 村 典 子	中 西 香 太	ミール 計 恵
大 塚 健 児	岡 本 優 子	成 島 良 太	関 根 ジョー
大 松 尾 尚	戸 張 友 子	増 田 田 薫	原 高 橋 伸 二
岩 堀 研 嗣	山 口 正 信	平 鈴 木 智 明	高 橋 大 啓 介
宇津野 史 行	箕 輪 原 正 幸	岩 木 瀨 村 井 秀 三	鈴木 中 啓 之
二階堂 剛 美	織 市 川 惠 一	木 桜 末 松 裕 人	山 口 栄 由 祥
諸 角 川 英 孝	深 田 居 照 康		杉 山 所 正 美
小 沢 曉 民			城

※変更があった委員 (令和3年4月7日現在)

ちょっと一息 委員会って何するところ?

市役所の仕事は範囲が広く専門的なので、議員全員が集まる本会議で十分な審議が困難です。そこで、議案などを専門的、合理的、能率的に審査するために委員会があります。各委員会に付託された議案などに質疑、討論などを行い、委員会として意思決定します。その後、委員会での審査の経過と結果を本会議で報告します。
委員会には、常設されている常任委員会、議会運営委員会と、必要に応じて設置される特別委員会があります。



公共施設再編検討特別委員会設置

新庁舎建て替え等に関する方針および公共施設再編のあり方を検討するため、委員12人からなる特別委員会を設置しました。

公共施設再編検討特別委員会					
委員長	末 松 裕 人	副委員長	城 所 正 美		
	ミール 計 恵		大 塚 健 児		
	大 橋 博 一		原 裕 二		
	伊 東 英 一		石 井 勇 幸		
	山 中 啓 之		織 原 正 幸		
	二階堂 剛		中 川 英 孝		

(令和3年6月23日)

一般質問

6月定例会では、6月9日・10日・11日・14日の4日間にわたり、34人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

一般質問の発言時間短縮について
今定例会においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問の発言時間を通常60分から25分に短縮することを議会運営委員会で決定しました。

学校等・保護者間における連絡手段のデジタル化の推進について

市民力・立憲民主党

中西 香澄

問 教育現場等負担軽減のため学校の欠席連絡のデジタル化や、入園入学進学の書類簡素化とデジタル化ができないか。またデジタル化が実施されるまで、保育所(園)、幼稚園、小学校から中学校まで入学時等に

同じ書式を継続して使えるか。

答 子育て世代等への負担軽減のため、アンケート機能を活用したスマートフォン等による連絡手段のひな型を研究し、校長会等での案内を検討している。入学時等の書類を統一様式にすることは難しいが、ダウンロード用様式の学校ホームページへの掲載等、保護者の負担軽減のため学校に働きかけていく。



松戸市緊急通報装置について

公明党

鈴木 智明

問 近年携帯電話が普及し、固定電話の利用者は減っているが、市民税非課税世帯の一人暮らし高齢者に貸与している緊急通報装置は固定電話回線を利用して設置している。現在の社会情勢や市民ニーズに対応し、固定電話回

線を使わなくても利用できる緊急通報装置を導入できないか。

答 固定電話回線を使用せずに緊急通報装置を利用できる新機種の開発については聞き及んでいる。従来型より高めの通信料が発生する等の課題もあるが、今でもサービスを利用できなくなった方も利用することができ、一人暮らし高齢者の緊急時の対応や見守りに緊急通報装置が大変有効であるため、新機種の導入に向けて検討していきたい。

除染により発生した除去土壌の不適切な管理について

市民力・立憲民主党

岡本 優子

問 除去土壌が不適切な管理となった経緯は。また除去土壌等の保管状況を適切ではないとの認識はあったか伺う。

答 敷均しの報告を受け現地確認をしたところ、すでに宅地造成がされており保管状況は不

適切で改修も不可能であると判明した。環境省へ相談し、当該地の空間放射線量を測定し最終所有者へ報告するよう助言を受けたため、所有者へ報告し適切に対応したと考えている。しかし環境省と協議を進め除去土壌の移動を検討する中で敷均しが起きたことは遺憾と考える。今後の改善方法として、保管状況を把握しつつ環境省と協議の上、適切な保管を継続できるよう再発防止に努めていく。

多胎妊婦への支援について

公明党

岩瀬 麻理

問 双子等の多胎児妊婦は通常の妊婦健康診査の助成回数以上に健診を受けており、単胎妊婦と比べて経済的な負担が大きい。国が多胎妊婦の妊婦健康診査費用を補助する支援事業を開始したことを受け、本市におい

て多胎妊婦の負担軽減を図る考えはあるか伺う。

答 国は令和3年度予算に多胎妊婦に対して、単胎より多く生じる妊婦健診の費用補助を行う「多胎妊娠の妊婦健康診査支援事業」を創設した。本市においても毎年40人程の方が多胎児を妊娠し妊婦健診を受けているため、経済的な負担軽減を図り安心して妊娠期から出産、子育て期を迎えられるよう妊婦健診費用の追加助成を検討していく。

道路の安全対策について

公明党

伊東 英一

問 上本郷駅入口交差点に右折車線を設け、車の流れがスムーズになるよう改良する考えは。また宮前アンダーパスの冠水ライン表示を目立つ色へ変更することについて本市の見解を伺う。

いては、本市全体における交通渋滞箇所や渋滞要因の分析に努め、交通利便性の向上や要望を踏まえ、整備順位を今後検討していく。また宮前アンダーパスの冠水ライン表示については、7月上旬を目途に、道路舗装面にオレンジ色で3段階の水位表示と、双方の車線に路面標示を実施する。さらなる対策として、現在設置している電光表示板の他に、新たに入り口手前に「冠水注意」の表示を設置する。

コロナ禍における学校給食について

公明党

城所 正美

問 食材納入業者との契約において、キャンセル条項や補償内容の現状について伺う。

約書で規定する損害賠償に関する条項にのっとり、費用が発生する場合は、学校長が給食費から食材納入業者へ支払いをしている。キャンセル可能な期限について、各校で共通して使用する契約書には明確な規定がなく、各食材納入業者へキャンセル可能な期限の確認を行い対応している。令和4年度以降の契約書には明確な規定を盛り込めるよう学校および食材納入業者と調整していきたいと考えている。

女性の経済的負担軽減について

公明党

諸角 由美

問 生理用品の各施設での配布状況と「生理の貧困」をどう認識しているか。また今後の取り組みについて伺う。

答 令和3年5月末時点の配布状況は男女共同参画センター23人、子育て支援課61人、常盤

平児童福祉館およびこども館4カ所、青少年プラザ4カ所、25人、保健福祉センター3カ所と六実保健室で32人、合計15カ所で141人に生理用品と相談窓口を一覧を配布した。また分散備蓄倉庫への配備は6月末に完了予定である。「生理の貧困」は、解消すべき喫緊の課題であると認識しており、今後の配布状況等を踏まえ小中学校や公共施設等の個室トイレについて配置を検討していく。

松戸市文化ホールの活用促進について

松政クラブ

小沢 曉民

問 長引くコロナ禍で、生きがいづくりや学びの拠点として、文化ホールの有効活用を図る必要があると思うが、課題および今後の活用促進等の考えを伺う。

答 施設の利用率向上と施設の有効活用を図ることに加え、生涯学習とのさらなる連携強化が課題と考えている。そこで市民の学習や交流に自由に利用できる(仮称)生涯学習サロンを開設する。パソコン貸し出しやWiFi提供等を予定し、多様な使い方ができるフリースペースを設けることにより併設している施設利用者の活用等の相乗効果を期待している。併せて開館時間を21時まで延長する。今後も多世代の市民が活用できる有効な事業を進めていく。

市立小中学校校舎の老朽化について

立憲民主党

成島 良太

問 多くの市立小中学校校舎において老朽化が顕著だが、教育環境は大切であり、普段使わない非常階段等は、実際に利用した時に問題がないか心配である。老朽化が著しい場合は、修復や改修よりも建て替えが良い

と考えるが、市の見解を伺う。
答 従来の建て替え中心の整備手法では財政負担の圧迫が見込まれるため、現在「松戸市学校施設長寿命化・再整備計画」の策定準備を進めている。同計画は改修方法の工夫と計画的な実施により、施設の耐久性の向上と、財政負担の軽減・平準化を図るもので、今後10年程度は現状の施設規模を維持しながら、長寿命化改修を中心に整備を行っていく。

災害対策について

公明党

松尾 尚

問 改正災害対策基本法の施行に伴い、5段階警戒レベルのレベル4が避難指示に一本化されたこと等に対する市民周知状況と作成が努力義務化した個別避難計画への取り組み状況は。また頻発化・激甚化する自然災

害に備え専門知識を持つ「気象防災アドバイザー」を起用する考えはないか伺う。
答 改正内容の周知については市ホームページや自治会掲示板等により行っている。また避難行動要支援者全ての個別計画の策定には至っていないが、近隣市等の動向を注視していく。本市の防災体制強化に気象や防災に精通した人材登用は重要で、国の気象防災アドバイザー制度等の動向を注視していきたい。

タブレット端末を利用した不登校生徒へのオンライン授業について

公明党

篠田 哲弥

問 不登校児童生徒に対し、自宅における「授業のライブ配信」の取り組みについて、本市の考えを伺う。

答 不登校児童生徒に対し、学校の授業の様子を「ライブ配信」することは、学習意欲の向

上や知識の定着につながると考えている。また登校できなくても学校での授業をオンラインで見ることにより「自分は学級の一員である。ひとりではない」と感じ、自己肯定感の高まりが期待できる。本市には不登校児童生徒の支援として「ふれあい学級」「ほっとステーション」の施設があり、タブレットの活用を推奨している。今後も児童生徒の個々の状況を確認しながら、効果的な学びや支援をしていく。

市長の政治姿勢について

市民力・立憲民主党

山中 啓之

問 「4期16年は長すぎる」と多選批判して、初当選された本郷谷健次市長もいまや市長3期12年間の任期を残すところ1年余りとなった。今後の出処進退について、市民の誤解や混乱を招かぬように公表の仕方をどう

考えているか伺う。
答 新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、喫緊の課題が山積している状況を鑑みても、繰り返しの答弁になるが、市政のかじ取りを託された残りの任期を職員と一丸となって、全力を傾注して着実な成果を上げていくことが一番大切なことと考えている。評価の時期や手法については、今後考えていきたい。



子宮頸がんワクチンについて

政策実現フォーラム

増田 薫

問 対象者に個別通知すると判断した理由および通知の際に配慮したことは。また通知後の接種人数の変化はあったか伺う。
答 子宮頸がんワクチンの定期予防接種を知ってもらうため、令和2年10月個別通知を実施す

るよう国から通知があり、その通知に基づき対象者である小学校6年生から高校1年生に対し、個別通知を実施した。通知では、子宮頸がんワクチンの有効性および安全性等について理解した上で予防接種を受けられるよう、接種勧奨とならないよう留意した周知に努めている。また通知後の接種人数は、個別通知をしていない元年度10月から3月末までが4件、個別通知後の2年度同時期は109件であった。

原子力災害における水戸市民の県外広域避難に関する協定について

政策実現フォーラム

DELLI

問 原子力災害における水戸市民の県外広域避難に関する協定において、本市への避難者が1万6千人と決定されているが、その積算根拠について伺う。
答 本市の受け入れ可能者数

については、各避難所収容可能

面積について、倉庫や階段などの居住スペースとして使用できない部分も含めた延床面積から一人当たりの占有面積を4平方メートルとして算出し、約1万人の受入れが可能であると判断したものであり、これを受け、水戸市において、本市への避難者が約1万6千人と決定されたものである。なお各避難所の収容可能面積や収容可能人数については、早急に算定する予定である。

事業者支援について

無所属

箕輪 信矢

問 千葉県と協力し、配送業務が必須な市内事業者に対し、コロナ禍が終息するまでの間、臨時駐車許可証を限定的に発行できないか。また駐車料金の支援等を検討できないか伺う。
答 配送による路上駐車は、

交通事故の要因になり得るので、コロナ禍でも特例はないと千葉県警察本部から見解を得ている。本市では支援策として中小企業サポート給付金を提案し、主な支給要件は売り上げが20%以上減少している市内中小事業者等が対象で、配送に係る駐車料金の支払い等に利用できる給付金となる。今後も国・県の動向を注視し、必要に応じ事業者支援を実施していきたい。



長期財政見通しについて

松政クラブ

鷹野 聡

問 本市の人口は50万人を目前に1年近く足踏み状態が続いている。人口が一定で高齢者の割合が増えれば、現役世代の割合が減り、それに伴い納税義務者も減るのではないか。
答 現役世代層から高齢者層

に移行したとしても、高齢者層は課税対象となる公的年金の受給者として納税義務者となり、また新卒者等の新たな参入により現役世代人口は維持されるものと考えている。納税義務者数の割合は平成29年度から令和元年度の過去3年間で3・67%増である。本市では納税義務者数の増加傾向は続くという見通しを立てており、中長期的には現状を維持できるものと推測している。

災害時のオストメイト支援について

公明党

織原 正幸

問 本市の分散備蓄倉庫等における簡易トイレは、健常者の方々の利用を想定した備蓄であるため、避難時において特別な対応を必要とするオストメイトの方々の専用簡易トイレを備蓄する考えはないか伺う。

答 オストメイトの方々への取り組みとして、市内3カ所の公共施設で災害時におけるストーマ用器具保管場所を確保している。また公共施設等のオストメイト対応トイレの設置場所を、市ホームページで公表しており、中には災害時に特別な配慮が必要な方を受け入れる「地域福祉避難所」指定の施設もあるため、周知に努めるとともに、災害時

用オストメイト専用簡易トイレの備蓄を検討していく。

高齢者の聞こえの支援 について

日本共産党

ミール 計恵

問 難聴は高齢者の認知機能の低下に関与し、社会的孤立によるうつ等の要因にもなる問題だが、高齢者の聞こえの実態把握は行っているか。また認知症予防の一環として言語聴覚士による無料相談等の聞こえの支援体制と、補聴器補助制度を創設する考えはないか伺う。

答 高齢者の聞こえの実態は把握していないが、介護認定申請者は介護保険認定調査票の項目から大まかな把握は可能である。また一般の高齢者は情報提供や介護予防活動を通じた実態把握が想定される。現時点で聞こえの支援体制や補聴器補助制度の創設予定はないが、実態把握に努め調査研究していく。三



補助犬トイレについて

立憲民主党

関根 ジロー

問 本市で主に活動している「盲導犬を普及させる会」では、厚生労働省が作成している「ほじょ犬マーク」ステッカーを多数の取り組みを行っている。この取り組みの一環で本市に対して、ステッカーを掲示することを求める要望書が提出されたが、どのように対応するか伺う。

答 令和元年度から松戸市立総合医療センターでステッカーの掲示を行っている。身体障害者補助犬への理解を深めるためにも「身体障害者補助犬法」の普及啓発を目的に、本市が管理している公共施設等への掲示を検討したいと考えている。



難病支援について

公明党

飯著 公明

問 網膜色素変性症は、夜盲症や視野狭窄が進み失明することもある難病である。暗所視支援眼鏡は、暗い場所でも明るく見え、視野を広げることができ、機能を備えた器具である。他の自治体では、この器具を障がい者の日常生活用具として費用補助の対象に追加しているが、本市においても購入費用の補助ができないか伺う。

答 障害者総合支援法に基づく日常生活用具は、難病や障害のある方が日常生活をより円滑に送ることができるよう市が主体となって内容を決めている。本市においてもこの器具を日常生活用具の対象品目に加えることについて、早急に検討し実現に向けて取り組んでいく。

放課後児童クラブのコロナ禍 における配慮について

立憲民主党

戸張 友子

問 コロナ禍における子どもたちへの配慮について、ガイドラインに従って3密回避はされているか。エアコン設置状況は適切か。また育成の現場や対応の把握等について伺う。

答 3密対策としては、利用

児童の多い時間帯は外遊びをし、全員が屋内で過ごす時は体育館を借用する等対応を図っている。エアコン設置については、新たに借用した教室等は順次対応しているが、設置が間に合わない場所は、代替となる場所を調整している。また現場や対応の把握等については、運営事業者を通じて情報共有するほか、令和3年度から配置する会計年度任用職員の巡回により施設状況や児童の育成状況を確認している。

保育所入所状況と小規模保育 施設卒園児童の進路先について

日本共産党

山口 正子

問 2021年4月の①入所保留児童90人の年齢別内訳②入所希望達成率は。また2020年度の③小規模保育施設卒園児童の進路先④預かり保育の幼稚園数と人数について伺う。

答 ①入所保留児童の年齢別

内訳は0歳児8人、1歳児34人、2歳児17人、3歳児22人、4歳児7人、5歳児4人である②第1希望での入所希望達成率は、55%である③小規模保育施設卒園児童の進路先は認可保育園・認定こども園は340人、幼稚園は191人、その他は21人である④預かり保育の幼稚園は、市内34園中33園であり利用者は1182人である。うち市基準の長時間預かり保育の実施園は19園、利用者は906人である。

地域交通の課題解決と 脱炭素化について

まつど未来クラブ

鈴木 大介

問 地域交通の課題解決と脱炭素化の実現を目指し、グリーンスローモビリティの今後の積極展開を検討すべきと考えますが、市の見解を伺う。

答 高齢化の進展に伴い、狭隘な道路や高低差のある地域や

買い物等の不便地域において移動対応の必要性が高まっており、さまざまな波及効果が期待できるグリーンスローモビリティが有効な手段と認識している。現在、期間やエリアを拡大した新たな実証調査の実施について市として国の支援制度を最大限活用し、市内各地域のニーズや特性に応じた積極的かつ機動的な展開を図っていく。



周産期メンタルヘルス について

市民クラブ

深山 能一

問 親子すこやかセンターの現状や課題、精神科との連携の考え方および精神科受診後の支援状況について伺う。

答 令和2年度は妊婦489人、乳幼児588世帯と支援件数が増加傾向にある。精神的に

不安定な方の相談では、必要時に医療機関への受診を勧め、場合によっては医療機関へ同行等の支援をしている。周産期メンタルヘルスケアの推進には精神科との連携は必要不可欠で、精神疾患や経済面の不安定さ等の課題が複雑化・多様化しており、職員の専門性を高めるとともに精神科等の医療機関や子育て支援の関係機関との連携を強化し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を充実していく。

市役所の建て替えについて

松政クラブ

杉山 由祥

問 国の自治体DX（デジタル・トランスフォーメーション）によるデジタル化の加速や働き方改革等により、市役所の在り方が今後激変することを受け、オフィス・サービス創造課の役割と、ポストコロナの市役所像

に与える影響は。また本市の歴史的経緯を踏まえ分散型まちづくりの良さを生かせないか伺う。
答 建て替えの検討にあたって、災害対応や行政のデジタル化等ポストコロナの新しい市役所像に必要な機能について同課で担当。有事の際には災害対応拠点となる本庁と、地域共生社会推進の拠点となる支所との機能分散も、ネットワークの活用等により考慮し、市役所の在り方を具体的に検討していく。

大震災における江戸川河川敷 一般避難者への駐車場利用について

まつど未来クラブ

桜井 秀三

問 大震災時に車で避難してくる一般市民を対象に、江戸川河川敷の利用をどのように考えているか伺う。

答 本市では大震災などの大規模災害が発生した際の一時避難場所として、一定程度の人数

が収容できるおおむね10ヘクタール以上の面積を有する「広域避難場所」と定め、江戸川河川敷も指定している。内閣府作成の防災基本計画では、地震等の発生時における避難は渋滞等が発生する恐れがあるため徒歩避難を原則としており、本市でも避難場所への移動は原則徒歩でお願いしている。しかし国では「自動車避難のあり方」について研究を進めていることから、今後国の動向を注視していく。

流山市に接道する道路について

松政クラブ

大谷 茂範

問 流山市に接道する各道路は渋滞が常態化し、危険な箇所もある。抜け道として利用されている生活道路の安全対策および小金交番前の交差点の状況は、

千葉県流山区画整理事務所のインフラ整備の進捗や交通動向等を注視し、状況把握に努めている。また注意喚起のため路面標示等を行ってきた。小金交番前の交差点は、渋滞解消のため右折レーンの設置は必須と認識している。千葉県東葛飾土木事務所から右折レーンを設置するための暫定的な交差点改良は、交通管理者である警察と公安協議が完了し、令和3年度から工事に着手すると回答を受けている。

地域包括支援センターの出張相談について

立憲民主党

二階堂 剛

問 コンビニエンスストア等を活用している地域包括支援センターの出張相談の現状は。またワクチン接種予約相談などの活用と人員なども含めて出張相談の増設について、どのように考えるか伺う。

答 出張相談は地域包括支援センターの周知や相談のきっかけづくりの一つとして、コンビニエンスストアのイートインスペースの利用や地域のイベントにブースを設け開催しており、令和2年度の実績は同センター6カ所計14回開催した。またワクチン接種相談は同センターの業務である総合相談として受けている。これらの現状を踏まえ、出張相談の実施および拡充について検討していきたい。

コンプライアンスについて

松政クラブ

田居 照康

問 令和3年4月から自転車撤去作業において白ナンバーラックを使用している経緯は。白ナンバーラックを使用することは違法とも思えるが市の見解は。また今後の対応について伺う。

答 自転車等移送委託業務は平成30年度までは指名競争入札により事業者を選定していたが、入札不調が続いたことなどから31年度より一般競争入札に変更した。しかし31年度も入札中止が発生したため他自治体等の状況を鑑みるとともに、千葉運輸支局に確認し「許可等は要しない」との回答を得たことから仕様書に変更を行った。今後の対応については千葉運輸支局に確認をとりながら検討していく。

県立児童相談所の松戸市への誘致について

日本共産党

平田 きよみ

問 千葉県と共有している情報について①建設予定の市有地には住民のためのテニスコート等があるが、建設地はそれらの施設を含むのか②土地は県へ売却か貸すのか③もともと当該市有地を取得した目的は④建設を

打診された時期や手続きとして必要だったことを伺う。
答 県と共有している情報については①県の施設配置計画等が決定されていないため現段階では未定である③小学校予定地として取得したものである④令和2年12月に県から「児童相談所の新設に伴う候補地について」の照会があり、市有地のうち管轄区域内での交通機関等の利便性や周辺環境等の諸条件を勘案し、候補地として回答した。

放課後児童クラブの充実について

日本共産党

宇津野 史行

問 分室の整備にあたっては放課後児童クラブの要件を満たした施設・設備を基本とすべきと考えるが市の見解は。また放課後児童支援員等の処遇改善について現状と進捗を伺う。

答 室と同様の環境を備えることが望ましいが、分室が学校の教室の場合には日中、教育活動で使用しているため備品設置が難しい。今後は運営事業者の意向も参考にし、運営に支障がないよう整備に努めていく。
支援員等の処遇改善については放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業などの補助金活用に向け、令和3年度、手続きに必要な支援員等の給与に係る情報を収集予定である。

市役所本庁舎の建て替えについて

政策実現フォーラム

原 裕二

問 市が行った現地と新拠点での建て替え案の比較は庁舎規模の前提条件が違い適切ではない。必要延べ床面積を3万平方メートル、議会棟・別館は引き続き使用とする場合、新館部分の建て替えは不要となるはずである。

答 本館部分のみの建て替え案と新拠点での建て替え案を比較すべきと考えるが、市の見解は。
災害発生時は地域防災計画に基づき、多くの職員が本庁に集結し災害対応にあたることとしており、相当のスペースが必要と考えられる。また現市役所敷地で建て替えを行う場合は、既に相当の年月が経過している議会棟・別館についても基幹系設備の大改修等の工事を行う必要があると考えている。

子育て応援自動販売機の設置について

まつど未来クラブ

中村 典子

問 松戸駅ビルでは紙おむつの自動販売機が設置されており、全国では約100台が設置されている。市役所は子育て世代の方も多く利用されることから、松戸市役所でも設置する考えはないか伺う。

答 紙おむつ等育児用品を扱う自動販売機が商業施設等を中心に全国的に広がっていると認識している。本市においても、市民が安心して子どもを連れて外出できる環境整備につながるだけでなく「子育てにやさしいまち」という機運を高める取り組みの一つと考え、他自治体の取り組みを研究するとともに、乳幼児連れの市民が多く訪れる公共施設内の現況や設置方法を検討していきたい。

新市庁舎整備について

まつど未来クラブ

大橋 博

問 行政事務の効率化などによる庁舎規模への影響について、今後の事務の効率化、ICT化、地域共生社会実現のための支所機能の強化、アフターコロナなどの観点から、庁舎規模をどのように検討していく考えか。また

た現地建て替えにあたり全て更地にした場合、約4年間の仮庁舎借り上げにかかる費用等をどのように想定しているか伺う。
答 庁舎規模の検討にあたっては、市役所の責務である災害対応機能はもとより、働き方改革等も考慮するとともに、事業方式を踏まえた具体的な検討を進めていく。仮庁舎借り上げについては、全てを更地にする想定での検討はこれまで行っていないことから試算はしていない。

ちょっと一息 用語解説

一般質問

議案に関係なく、市政全般について市長など執行機関の考えや方針などを質問します。

採決

議案などについて、賛成・反対を表明し、議会の最終意思決定します。



9月定例会の開催予定

令和3年松戸市議会9月定例会は、8月31日(火)から9月27日(月)まで、いずれも午前10時より開催する予定です。
 請願・陳情は、8月20日(金)正午が提出期限です。

日程	主な内容
8月31日(火)	招集日・本会議(議案提案理由説明)
9月1日(水)	本会議(一般質問)
2日(木)	〃(一般質問)
3日(金)	〃(一般質問)
6日(月)	〃(一般質問・議案質疑)
8日(水)	総務財務常任委員会
9日(木)	健康福祉常任委員会
10日(金)	教育環境常任委員会
13日(月)	建設経済常任委員会
14日(火)	決算審査特別委員会(健康福祉分科会)
15日(水)	〃(教育環境分科会)
16日(木)	〃(建設経済分科会)
17日(金)	〃(総務財務分科会)
22日(水)	〃
27日(月)	本会議(議案等の採決)

※このほか随時、委員会が開催される場合があります。また開催予定が変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

議会傍聴について

市議会では、新型コロナウイルス感染症対策に努めています。傍聴席に入室される際には、備え付けのアルコール消毒液での手指消毒、マスクの着用をお願いいたします。なお体調のすぐれない方は傍聴をお控えいただきますようお願いいたします。
 傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。

●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
 TEL 047(366)7381

声の議会だよりをご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力により、「議会だよりを音声化したCD」の貸し出しを行っています。
 市内在住の障害者手帳(視覚障害)をお持ちの方で、CDの貸し出しをご希望される場合には、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

●問い合わせ先
 松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
 TEL 047(383)7111
 住所 松戸市五香西3-7-1

「声の議会だより」ができるまで



①音訳者打ち合わせ



②朗読を録音



③校正・編集



④CD作成・貸し出し

表彰

全国市議会議長会の定期総会において、議員在職30年以上および10年以上の方がそれぞれ表彰の栄に浴されました。

特別表彰(在職30年以上)

中川 英孝 議員

表彰(在職10年以上)

山口 正子 議員
 大橋 博 議員
 関根 ジロー 議員
 原裕二 議員
 鈴木大介 議員
 石井 勇 議員

マチイロ

スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。
 詳しくは市ホームページをご覧ください。

編集の窓

情報公開に取り組んでいる松戸市議会では5年前より政務活動費収支報告書等を公開しております。

各議員・会派の令和2年度分のホームページ公開が開始されました。どなたでも閲覧できます。

政務活動費は「議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部」と地方自治法で定められており、松戸市議会では一人当たり毎月5万円、上限年合計60万円が交付されています。

経理責任者等会議では、政務活動費の広報費等の使い方について話し合われました。

私たち議員の活用状況を市民の方々に閲覧していただくことで、より適正な運用を目指します。

次回発行予定は11月1日(月)です

松戸市議会の情報をホームページで公開しています

本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」から、お手持ちのパソコン、スマートフォンおよびタブレット型端末等からご覧いただけます。



松戸市議会 検索

議会中継